

R6補正A: EU 1月 29-3 GLO-berryJapan

さつまいも いちご及びいちご関連 商品

作成日 2026年2月10日

スケジュール

日程	1月29日～2月7日(8日着 9泊11日)
出張者	GLO-berryJapan 伊東
訪問都市	パリ/フランス, ブリュッセル・シントトロイデン/ベルギー ローマ/イタリア, ミュンヘン・ベルリン/ドイツ

日程	行動・活動 内容	宿泊地
1/29(木)	06:30 羽田T3 待ち合わせ 06:40植物検疫 検査後T2に移動 NH215 羽田09:50⇒パリ16:30	パリ
30(金)	イーストパリと同行しサプライヤー・ホテル訪問 Accent(レストラン)/SUNTOP(インポーター)/ParkHyattParis(ホテル) EuroStar 特急 Paris Nord 19:18⇒Brussels Midi/Zuid 20:47	ブリュッセル
31(土)	ホテル08:30出発 得意先10:00 日本食材卸社 終了後 シントトロイデン 夜 シントトロイデン営業と今後打ち合わせ	シント トロイデン
2/1(日)	シントトロイデン/ブリュッセル⇒ローマ 移動 easy jet 2986 ブリュッセル空港09:10⇒ローマ空港11:15 着後 日本食レストランMIKA Chanにて焼き芋準備	ローマ
2月	焼き芋・いちご大福イベント	
3(火)	ひな祭りイベント手伝い	
4(水)	ローマ⇒ミュンヘン移動 ITA Airways432 ローマ08:25 ⇒ミュンヘン10:00	
5(木)	フルーツロディスカ 視察 ホテル06:10発 ICE1604 特急 MunchenHBF 06:29⇒BerlinBHF 10:23 ICE1105 特急 BerlinBHF 18:36⇒MunchenHBF22:35	ミュンヘン
6(金)	Tokyo Do 来年度拡売イベント打ち合わせ	
7(土) 8(日)	ホテル07:20出発 鉄道ミュンヘン中央駅07:33⇒空港08:15 ANA NH218 ミュンヘン10:25 ⇒ 羽田 06:55	機内

(青果物)

	品物	預け荷物	機内持込	仕様先	梱包
伊東	さつまいもM	3箱 15kg		ローマ	①
	いちご あまりん	2箱	4p 2kg	パリ	②
	抹茶パウダー		2袋 100g	ブリュッセル	
生産者	腰掛大福		3袋(45粒) 3kg	ローマ	③
	いちご3L	2箱	4p(60粒) 2kg	ローマ	④
	いちご2L	2箱	4p(80粒) 2kg	パリ・ブリュッセル	②

②は手巻きラップ 伊東 ③④生産者 手荷物持込

目的

- ①パリ新規インポーターへの青果物提案しホテルや外食向けの拡販。
- ②ベルギー日本食材卸への提案。
- ③イタリア 日本食レストランへでの焼き芋及びいちご関連イベント。
店にて展開が可能かの確認
- ④ドイツ 来年度青果物展開打ち合わせ
- ⑤ドイツ フルーツロディスカ視察



今回荷物(ハンドキャリア)

活動報告 フランス/パリ

輸入社 SUNTOP社

パリで30年 厨房機器や関連書品の販売を行っている日系企業。最近は消耗品として野菜中心の青果物を扱い始める。今回はイチゴの提案。2月からフランスにおいて残留農薬の証明書が必要となるもまだフォーマット等決まっておらず食品関連の輸入ができない状態となっている。



岡本社長様

飲食店

以前から提案しています2店舗はSUNTOP社の取引先。ただし今回フランスの新たな基準において輸入がしにくい状況となりストップとなる。



Accsentオーナーとイチゴ生産者



ParkHyattParisスーシェフ

活動報告ベルギー/ブリュッセル

日本食品卸 KAORI

日本酒を中心に抹茶や調味料を輸入。ベルギー内飲食店に卸しているフレッシュは以前扱うも、品質に難あり現在は取り扱い無。今回干し柿と抹茶パウダーを提案する。



事務所に畳の小上がり



活動報告ドイツ アテンドTokyoDo

Businessマッチングアプリの活用
「Linkedle」

来季 BtoBメインのイベントの調査

活動報告 イタリア/ローマ 日本食レストラン「Izakaya Mika」



9月ミラノで開催された日本酒イベントにて知り合い、来日中(和食修行)に2度お会いし今回のイベント開催となる。

- ・焼き芋及びイチゴ大福の試食会及び日本酒とさつまいものコラボイベント(SAKE Companyジョイント)
 - ・節分イベント 料理にさつまいもを使用。やきいもはデザートとして提供される
- 非常に高評価で通常さつまいもといちご及びいちご大福の輸入の要望をうけるも酒イベント会社がまだ青果物類のライセンス取得申請中で今季は厳しい。
2月末ローマで開催されるJapanDaysに焼き芋試食会を実施。。ハンドキャリー対応。

試食会



コラボイベント



フルーツロディスカ 視察

2023年出展していろいろの訪問、気になった点をご報告します。

- ① 2/5(木)視察 中日でもあるので、全体的にかなり人か多かった。
- ② しかしアジアホールはまばら。あまり興味が無いようであった(中南米やアフリカと商品が重なる) 品質面や遠方による輸送費などが問題かと。中国も目立たない。ベトナムが多い。
- ③ さつまいも いちごの出品が多い。特にさつまいもは各国で出品。
また いちごに関してはピンキリあるものの、ギリシャなど新興国のイチゴは美味しかった。
スペインの業者は韓国産も取り扱っていると。日本産はまだない。
- ④ りんごは、以前と違い噛んだ際、シャッキットした食感が多い。変わってきたようです。



さつまいもは展示のみ。試食なく味覚は不明。ただ出品者多い



世界初
アレルゲンフリーりんご



3色トマト



黒トマト

今後の課題と対応

- ・フランス: やっと輸入社と手が組めそう。フランス独自ルール発動し提出書類が未確認であるが来年度シェフ限定試食会を開催する予定。BtoBに特化。各季節の果実(桃/葡萄/りんご/いちご)にてイベントを実施する。さつまいもや抹茶パウダー, 燻柿は都度提案する。
- ・イタリア: 現在青果物輸入ライセンス申請中。春には取得予定。ローマの日本食レストランはほぼ確定。さつまいもやイチゴ, 葡萄など。
- ・ベルギーは苦戦するも6月JapanFesが開催される予定。そこでエンドユーザーをの獲得を目指す。
- ・ドイツ: 再構築中 アプリによって新規顧客をつかむ。
- ・フルーツロディスカ: 世界の果実の品質はかなり高くなってきており、日本産果実の品質に追いつくのも近いと思われる。ゆえに改めて日本産果実を出品しより高品質である事をアピールする必要がある。このままでは日本産果実の存在が忘れられる危機となる。来年度は出展すべきである。

売上計画

- ・ 2026年度 さつまいも1000万円
- ・ りんご200万円
- ・ 柚子100万円
- ・ 桃 100万円
- ・ 葡萄 200万円
- ・ いちご300万円
- ・ 香味野菜100万円

まとめ

- ・ 安心できる販売先や使用先と巡り合えたものの、国独自の規制や輸出許可の問題で今季は足踏み状態。来年度は課題を解決し拡販に努めます。